



国土交通大臣賞

龍谷大学 龍谷ミュージアム

日建設計一級建築士事務所（大阪）

龍谷大学創立370周年事業の一つとして開設された、仏教に関する総合博物館。外観は、西本願寺界隈の景観に配慮して屋根は切妻とし、京都市の景観政策に合わせ棟高を15mにおさえた。また、展示室、収蔵庫を地上階に確保するため、エントランスホール、事務部門、中庭を地下3mレベルに設けた。建物の下をくぐって東西二つの通りを繋ぐ通抜路地を設けることにより開かれたミュージアムを具体化し、周辺の門前町に貢献している。西側ファサードは、約4,000本の日射遮蔽のための簾状セラミックルーバーを用いて柔和な雰囲気を出している。



建設地：京都府京都市／用途：総合博物館（仏教）／構造：S造、RC造、SRC造／階数：地上3階、地下1階／面積：敷地面積 1,671.69㎡ 建築面積 1,342.85㎡ 延面積 4,412.65㎡

撮影：東出清彦（上）、近代建築社（下）



日事連会長賞

本宮保育園

| 谷重義行 + 建築像景研究室 (石川)

神社の境内に隣接する豊かな環境で子ども達の「こころ」と「からだ」の育成を目指す。「小さいけれど多くの人々 たくさんの本物と出会うことのできる」ここはそんな保育園。園舎の外周を巡る犬走りや深い庇、雨や雪でも泥んこ遊びができる広い半外土間を設け、園児の活動を内外に広げた。形態は神社と競わない低い軒高の黒色鋼板フラット屋根。能登の建材を用い、森林保全、地域産業活性、省エネ等の一助とした。日本家屋の伝統的手法：中間領域の設定、置屋根式通気、庇による遮光と通風、無双窓による換気、調湿自然素材の使用等に取り組んだ。



建設地：石川県七尾市／用途：保育所／構造：W 造一部 S 造／階数：地上 2 階／面積：敷地面積 2,400.08㎡ 建築面積 650.28㎡ 延面積 664.02㎡

豊田市自然観察の森ネイチャーセンター及び周辺施設整備 | 遠藤克彦建築研究所 (東京)

約 28.8ha の広大な自然を点と線で結ぶ観察路やサテライト施設を設置し、人と自然の接点となるような回遊性を生む建築である。森の玄関となるネイチャーセンターは「自然と触れ合うチューブ」と「自然を学ぶチューブ」を重ね合わせた、柔らかな曲線を持つ「道としての建築」の提案である。内部空間では、交差するダブルスキンの菱形開口により複雑な光が落とし込まれ、木漏れ日のような光を体験できる。

建設地：愛知県豊田市／用途：環境学習施設
／構造：S造／階数：地上2階、屋上1階／面積：
敷地面積 9,894.32㎡ 建築面積 1,615.34㎡
延面積 1,354.27㎡



撮影：上田 宏

至誠大地の家 | 竹中工務店東京一級建築士事務所 (東京)

児童虐待について取り組む、小学校3年以下を対象とした30人定員の複合型児童養護施設。心のケアを計画課題に建築主とともにプログラムを構築し、「つなげる」「育てる」「守る」をコンセプトとした施設である。周辺エリアとの境目には地域交流の場、都市性の高いエリアには地域活性化を促す施設、園内側の落ち着いた環境には子どもの住居施設を配置するなど、敷地特性を生かした配置計画となっている。

建設地：東京都立川市／用途：福祉施設（児童福祉施設）／構造：RC造／階数：地上4階／面積：敷地面積 1,933.27㎡ 建築面積 854.97㎡ 延面積 1,609.91㎡



撮影：堀内広治

陸別小学校 | 北海道日建設計 (北海道)



「日本一しばれる町」の厳しい自然環境に適応するため、高断熱化と陽光の取入れを両立させる外断熱工法の堅固な RC 造と開放的な木造架構によるハイブリッド構造や、地中熱利用の暖房シス

テム等を採用し、自然を生かした環境学習教材となる校舎づくりを行った。地場産木材を活用し、隣接施設や山並みとの一体感がある、町のシンボルとなるような学校を目指した。

建設地：北海道足寄郡陸別町
／用途：小学校／構造：RC
造一部木造／階数：地上1階
／面積：敷地面積 29,687.00
㎡ 建築面積 4,193.83㎡ 延
面積 3,861.82㎡

優秀賞 | 小規模建築部門

森のすみか / nest | UID 一級建築士事務所 (広島)

尾道市内の隣家が疎らな山裾に位置する、女性3人と愛猫のための小さな住宅。家族同士の身近な距離感を保ちながら環境と建築の境界をゆるやかにつなげることを考えた。森の地表を覆う要素の中に生物がすみかを生成するように、床と壁の不連続な構成によって環境と住処を包含したひとつながりの空間とした。瀬戸内の温暖な気候風土を活かし、建築自体で環境を限りなく制御していくようなあり方を考えた。

建設地：広島県尾道市／用途：一戸建ての住宅
／構造：木造／階数：地上1階、地下1階
／面積：敷地面積 362.00㎡ 建築面積 81.22㎡
延面積 81.22㎡



撮影：上田 宏

まちの保育園 | 宇賀亮介建築設計事務所 (神奈川)



「まちの人」との交流を図りながら「街育」を実現する新しい教育プログラムと地域コミュニティの場を提供する、まちに開かれた保育園である。建物外観は、周囲との景観的調和を考慮し寄棟屋根とし、建物及び屋根の分節化を

図っている。また、内部は木やレンガタイルを多用することで落ち着いた内装空間の形成を図るだけでなく、園内に多様な空間を提供し、自分達の居場所や対話の場を楽しく発見できるように配慮している。

建設地: 東京都練馬区 / 用途: 保育所兼用住宅 / 構造: S造 / 階数: 地上2階 / 面積: 敷地面積 838.65㎡ (A棟) + 137.55㎡ (B棟) 建築面積 377.80㎡ (A棟) + 80.42㎡ (B棟) 延面積 394.12㎡ (A棟) + 108.40㎡ (B棟)

森を奔る回廊 | 都市建築設計集団 / UAPP (宮城)

仙台市郊外の樹木林の中に建つ、細長い高床式の住宅。木々の間を縫うような細長い部分にしか建てられないため、建物を地面から1m浮かせ、最小限の基礎とすることで、自然に配慮した計画となった。細長いボリュームを構造として成立させるため、柱、梁を等間隔で門型に反復させ、それを積極的に内部に取り入れ、場所ごとに最適な開口をいろいろな高さで設け、森の中の回廊のような住み家となっている。

建設地: 宮城県仙台市 / 用途: 専用住宅 / 構造: 木造 / 階数: 地上1階 / 面積: 敷地面積 611.94㎡ 建築面積 109.27㎡ 延面積 109.27㎡



富士山環境交流プラザ | 大成建設一級建築士事務所（東京）

富士山と駿河湾のそれぞれが背景となることを考慮し導き出されたシャープな屋根形状は、遠近法により様々な表情を持ち、勾配屋根から水平屋根へと変化しながらこの二つの景観と調和する。屋根外周部は片持ちの部材を格子状に組むことで、10.2mの跳ね出しを可能とし、軽やかな屋根を実現した。また、平面は富士山を望む広場を囲うL字型プランとし、人々の交流を促す計画となっている。

建設地：静岡県富士宮市／用途：事務所／構造：RC造、S造／階数：地上2階／面積：敷地面積 499.41㎡ 建築面積 298.38㎡ 延面積 441.41㎡



撮影：宮本真治

審査講評

日事連建築賞選考委員会委員長 坂本一成

都市に開いた博物館建築

今年度の国土交通大臣賞は龍谷大学 龍谷ミュージアムです。この建築は龍谷大学の仏教に関する博物館で、京都・堀川通に面し、背後に京町家が数多く残る地域にあります。この建物では、極めて低い天井高のエントランス部を地上階に配置し、地下階となる中庭を導入空間として経て、1階部の大半を吹き抜けにした地下階のエントランスホールに至る構成をとっており、この地下階で連続する中庭を伴ったエントランスホールはこの博物館の特に重要な場所を形成しています。この構成は街路に続くエントランス部を豊かな空間を保ちながら低い階高に収めることができることから、十分な天井高を確保した2層の展示室を上階に確保することを可能にし、また小路への通り抜け通路をとることを可能に

する等、都市性の高い建築を形成しています。このように、この建物は、博物館建築としての魅力的な空間を形成しているに留まらず、従来閉鎖的であった博物館建築を地域や都市に積極的に開いた構成によって、完成度の高い建築の空間を形成したものととして特に評価され国土交通大臣賞に選定されました。



現地審査風景 龍谷ミュージアム

建築・人・環境の豊かな関わり

日事連会長賞は本宮保育園です。この建築は能登の七尾市の田園地帯にある神社の境内の杜に隣接して建てられた小規模な保育園です。この保育園は軒高を低く抑えたフラットルーフに近い緩勾配の屋根によって隣接する入母屋屋根の神社や境内の樹木に対し、柔らかなコントラストを成し、また周囲の人家や田畑との調和を保った見事な景観を形成しています。深い庇の大屋根は内外の曖昧な境界を持つ空間として児童の多様な活動を包み込む豊かな園舎としての場所を形成しており、さらに丁寧に設計された内部は爽やかで優しい内部空間として保育園児の豊かなアクティビティを包含する場となっています。素朴な地場の構造材や仕上げ材による、そしてまた単純な構造や自然エネルギーの有効利用を伴ったこの建築は、それ故に柔らかな優しい建物となっています。このように、この建物は、建物と人とそして環境との豊かな関わりを感じさせる建築として特に評価され日事連会長賞に選定されました。



現地審査風景 本宮保育園

環境配慮はスタンダードに

一般建築部門の優秀賞は次の3作品です。

●豊田市自然観察の森ネイチャーセンター及び周辺施設整備

建物は豊田市の自然観察の森の入り口に建つ、自然環境に関する展示室を中心としたミュージアムセ



現地審査風景 豊田市自然観察の森ネイチャーセンター及び周辺施設整備

ンターです。大胆な構造と特異な形態でありながら、ずれた弓状平面の2本のチューブの建物ボリュームは、違和感なく環境に馴染んだ自然で信頼感ある外形を構成しています。展示室とその他の研修室等のセンター部は上下階に重なるエントランスホールで結ばれ、それぞれ森に続く外部に連続する豊かな内部空間を形成しています。様々な地球環境維持の取組みを適切に対応した設計で優れた建築となっています。

●至誠大地の家

立川市の多摩川沿いの緑地に隣接して建つ児童養護施設の居住棟と研修棟が結合した建物です。自然環境ばかりでなく、特に周辺地域とのつながりを重視して、地域交流のための場を積極的に設けるための配置計画や建物の開放性に留意した建築となっています。また福祉施設として優れた平面計画や地域の環境との関係に根ざした計画だけでなく、中古建築材やリサイクル家具の再利用を始め、自然エネルギーの積極的利用など様々な環境への配慮がなされた建物として評価されました。

●陸別小学校

北海道足寄郡の厳寒の地の小さな小学校です。東西北面壁をRC壁とし、南面壁及び屋根架構を木造とした混構造の構成によって、厳寒の地での熱負荷や使用用途対応等の整合性を求めています。このことが「開いて閉じる」という空間構造を形成し、北の厳寒の地の建物のあり方を示しています。またこの学校の中心的場である、児童の活動に対応した特

微ある多目的ホールの扱い、周辺環境になじんだ外形の景観対応、そして環境負荷低減の仕組みの視覚化等も評価できました。

周辺と一体化した密度の高い建築

小規模建築部門の優秀賞は次の 4 作品です。

●森のすみか / nest

尾道の郊外の山裾に建つ住宅です。この建物は地上半階分の位置に RC のプラットフォームを形成し、その上部を木造架構で大きくワンルーム的に覆い、そのスラブに空けられた穴のやや下部に居間、そしてエントランス、寝室、水廻り等を配置した特異な構成の住宅建築です。見事なスケールとプロポーションを伴って魅力的な空間が形成されており、住宅建築の新たな可能性を求めた優れた建築となっています。

●まちの保育園

東京練馬区のベーカリーカフェを伴った平屋の保育園です。この建物は、「街育」と称した地域コミュニティとの交流を積極的に意図したユニークなコンセプトに基づいた保育園です。カフェスペース及び保育室の床が半階分下げて埋められ、外部から視覚的に連続する等、内部空間の開放性ととも地域環境に配慮された構成となっています。また各部の細かな対応を含め、密度の高いデザインとなっており、優れた建築を実現させています。

●森を奔る回廊

仙台市の郊外の古くからの宿場町の雑木林に建つ住宅です。木々の間を縫うようなかたちで細長い全体平面をなし、木の根を切らないことへの配慮によって高床の構成となっています。細く長い平面の居室は様々な場所を回廊的に連続して形成しており、新鮮な空間となっています。また森の中の焼杉材による端正な外形は、周囲の環境に馴染んだ景観を形成する等、環境維持についても特に配慮した優れた設計となっています。

●富士山環境交流プラザ

富士山麓の工業団地に隣接して建つ富士宮市の地域交流施設です。展示室、工作作業室、会議室等の

市民を中心とした地域の人々の交流及び自然との共生を楽しむことを目的とした公民館としての役割を持った施設で、富士山麓の雄大な景観の中での積極的な外形構成が印象的な建築です。こうした景観と関わるデザインとともに省エネルギー技術等による対応によって優れた建築となっていると評価されました。



現地審査風景 まちの保育園

以上の他に、一般建築部門及び小規模建築部門それぞれにおいて、優秀賞に次ぐ奨励賞が選定されました。一般建築部門では九州歴史資料館 本館棟、日上市立大久保中学校、テクニカフクイ新社屋、飛騨市古川小学校、岡山市西消防署・消防防災センター、総本山知恩院 和順会館・参道整備の 6 作品、小規模建築部門では宇多津のギャラリー、House in ABIKO、飯坂温泉「旧堀切邸」、ナガヤネの 4 作品です。いずれも質の高い設計で、建築計画や構成技術に新しい提案を含んだ優れた作品です。

以上、審査講評といたします。来年度は、さらに多くの応募を期待します。

奨励賞 | 一般建築部門

九州歴史資料館 本館棟 | 久米設計一級建築士事務所（東京）



九州の歴史と文化を発掘調査・研究し、成果を公開してきた施設を、機能拡充のため、太宰府南方の小群市に移転再整備したものである。通常は非公開の実測や復原などの調査研究を公開することで、

来館者の興味を喚起するつくりとしている。建物外縁部を深い軒をもつ縁側空間で内外を緩やかにつなぎ、ガラスカーテンウォールを設けることで、開放性と博物館としての環境保持の両立を図った。

建設地：福岡県小郡市／用途：博物館／構造：RC造一部S造／階数：地上2階、屋上1階／面積：敷地面積 30,000.32㎡ 建築面積 7,284.36㎡ 延面積 9,475.92㎡

撮影：Techni Staff 岡本公二

日立市立大久保中学校 | 三上建築事務所（茨城）



幾度の増築で生じた諸問題の解決とともに、これからの教育に対応し地域との望ましい関係を目指した学校施設の再構築。3階建の校舎を敷地北側に集約し、高低差がある不整形な平面形状の敷地に

対して、建物と屋外施設の線形を整理し、秩序を作り出している。3層吹抜となる暇修ホールを校舎の中心に捉え、南側、東側、及び改修した北西既存建物を各々普通教室、管理教室、特別教室とした。

建設地：茨城県日立市／用途：中学校校舎／構造：RC造一部S造／階数：地上3階／面積：敷地面積 21,425.70㎡ 建築面積 3,010.00㎡ 延面積 7,330.00㎡

撮影：堀内広治

テクニカフクイ新社屋 | 竹中工務店名古屋一級建築士事務所 (愛知)

年間日射時間の少ない多雪地域の厳しくも豊かな自然との関係をテーマとした自社オフィス。開口部を絞って大きく軒を出し、ペリメーター部を執務空間としないことで環境負荷を低減し、水盤を持った中庭を中央にとり、上部から「環境」を取り込んでいる。自然を実感できるように平面に視線を抜き、段差を利用し4層スキップフロアの吹抜を立体的につなぐなど、創造性を喚起させるオフィス環境とした。

建設地：福井県越前市／用途：事務所／構造：RC造／階数：地上2階／面積：敷地面積 13,673.91㎡ 建築面積 2,254.83㎡ 延面積 3,363.90㎡



撮影：吉村行雄

飛騨市立古川小学校 | 日建設計一級建築士事務所 (愛知)

周辺低層住宅地の風景に調和するように、分棟した棟の勾配屋根が重なり合い集落のような家並みをつくる低層校舎。児童の生活を考え、学年を一棟にまとめ、東西の「ふれ合いギャラリー」を軸にクラスター型配置とし、学年単位のまとまりをつくる配置とした。緑の山並みを背に、出格子の商家や白壁の土蔵など古い街並みが残る飛騨古川に立地する小学校として、のびやかな白壁と木格子が児童を迎える校舎。

建設地：岐阜県飛騨市／用途：小学校／構造：RC造、木造、S造／階数：地上2階／面積：敷地面積 32,373.75㎡ 建築面積 7,520.72㎡ 延面積 8,739.38㎡



岡山市西消防署・消防防災センター | 黒川建築設計事務所（岡山）

市民の安全な暮らしを支えるために、免震構造を採用した消防・防災拠点施設。メンテナンスを兼ねた庇と調光ルーバーで、ペリメーターゾーンの照明・空調負荷の低減及び躯体保護を図り、自然エネルギーの利用に努めた。また、執務・公関係諸室の開放性、生活・ストック系諸室の閉鎖性を表現するファサードを構成し、それらを繋ぐ中心の吹抜空間は市民に開放し、地域に開かれた消防署を目指した。

建設地：岡山県岡山市／用途：消防署／構造：SRC造／階数：地上5階／面積：敷地面積 3,580.05㎡ 建築面積 1,358.88㎡ 延面積 4,378.65㎡



総本山知恩院 和順会館・参道整備 | 竹中工務店大阪一級建築士事務所（大阪）

京都東山の自然へのつながりをもち、国宝三門前の広場に開かれた環境を創ることを目的とした計画。敷地の高低差を生かしたせせらぎや光庭を配し、地下にも光・風・水を取り込んでいる。穏やかな瓦屋根と漆喰の清楚な外観とし、素材感を生かした内装をもつ施設とした。また、古地図にも描かれていた歴史ある参道は国宝三門へ向かう連続空間として蘇らせ、歴史的環境に融和した清澄さを持つ場を創生した。

建設地：京都府京都市／用途：宿泊施設（宿坊）・参道／構造：RC造／階数：地上3階、地下2階／面積：敷地面積 3,585.04㎡ 建築面積 1,623.45㎡ 延面積 6,746.76㎡



宇多津のギャラリー | 清和設計事務所 (香川)

地域の芸術家や、事業主体である社会福祉法人が運営する障害者施設、高齢者施設の利用者の作品を展示するギャラリー。美しい瀬戸内海と青々とした芝生の結節点に、シンプルな黒い箱型施設が周辺と調和し、また、施設利用者にとって宝箱のような場所になることを目指して、デザインを構成した。展示室は柱型をなくして、シンプルな直方体モデルにし、小窓からは瀬戸大橋を望むことができる。

建設地：香川県綾歌郡／用途：障害福祉施設
／構造：RC造／階数：地上1階／面積：敷地面積 3,674.19㎡ 建築面積 253.90㎡ 延面積 228.62㎡



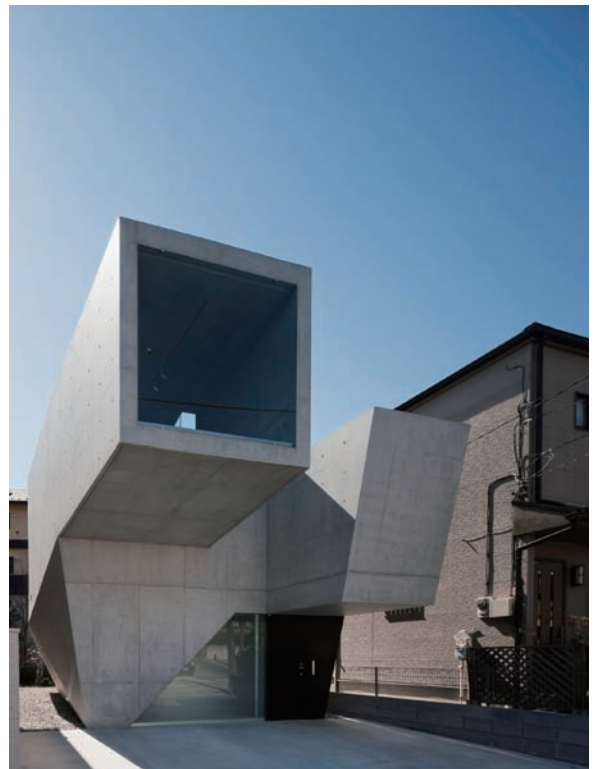
House in ABIKO

| fuse atelier (千葉)

我孫子市に建つ30代の夫婦のための住宅。敷地は台地と台地に挟まれた谷底低地に位置した軟弱地盤で、RC造を支持するには杭の必要性があった。そこで地盤にかかるコストを抑えるため、建物の接地面積を小さくして杭の本数を減らし、上部構造をキャンチ形式とした。建物の外観は、壁や屋根スラブを立体的に傾斜させた連続面とし、応力伝達を合理化したことで、特徴的な形態となった。この住宅は空間の関係性と構造の合理性を追求したフォルムによって、様々な距離感を作りだしている。多面構成によって分節しながら連続する内部空間は、繊細な自然光の反射と屈折を伴った多様なシークエンスを創りだしている。

建設地：千葉県我孫子市／用途：専用住宅／構造：RC造／階数：地上3階／面積：敷地面積 101.00㎡ 建築面積 48.54㎡ 延面積 80.82㎡

撮影：上田 宏



飯坂温泉「旧堀切邸」 | 鈴木設計（福島）

旧堀切邸は、福島市の奥座敷である飯坂温泉の中央に位置する豪農・豪商の邸宅。敷地内の全15棟の内、損傷や腐朽の著しい8棟を解体し、残る7棟は保存・修繕・耐震補強をすすめ、当時の営みを感じながらも展示や集会等に対応できる施設とした。ランドスケープは、本来の景観資源を構成している当時の素材や既存樹木の再利用を基本とし、当時の建物群を偲びかつ新たな飯坂の歴史を育む施設を目指した。

建設地：福島県福島市／用途：観光交流施設（文化財含む）／構造：木造、土蔵造／階数：地上1階／面積：敷地面積 3,851.98㎡ 建築面積 901.13㎡ 延面積 967.04㎡



ナガヤネ | 一級建築士事務所 group-scoop（東京）



畑であった敷地の「場の力」を損なわず、近隣に対する影響を最小限に抑え、景観としても周囲に貢献するために、建物高さを最小に抑えられる平屋での計画とした。敷地の細長い形状もあいまって、全

長約20mの長い一枚屋根で様々な生活シーンを緩やかにつなぐシンプルな家となった。南東側に採光を必要とする主な室を並べ、動線を兼ねる通り土間やクローゼットを各室に沿うように配置した。

建設地：茨城県水戸市／用途：専用住宅／構造：木造／階数：地上1階／面積：敷地面積 307.48㎡ 建築面積 102.77㎡ 延面積 94.91㎡

撮影：堀内広治